

苦惱

2011年2月19日 日 16:00開演 15:30ホワイエ開場

京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内) ※上演時間 約80分

[料金] 自由席/整理番号順入場

一般 = 3,500円 / シニア = 3,200円 / 学生 & ユース = 2,000円 /

京都芸術劇場友の会 = 3,000円

※ ユース = 25歳以下、シニア = 60歳以上対象 ※ 学生/ユース/シニアは要身分証明書の提示

※ 開演15分前から整理番号順にてご入場頂きます

[チケット発売日]

2010年12月6日(月) 友の会先行発売 / 2010年12月7日(火) 一般発売

主催: 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

協力: 東京日仏学院 L'INSTITUT 日仏演劇協会

後援: 関西日仏学館 関西日仏交流会館 ヴィラ九条山 Villa Enjoyama

大阪日仏センター = アリアンス・フランスーズ

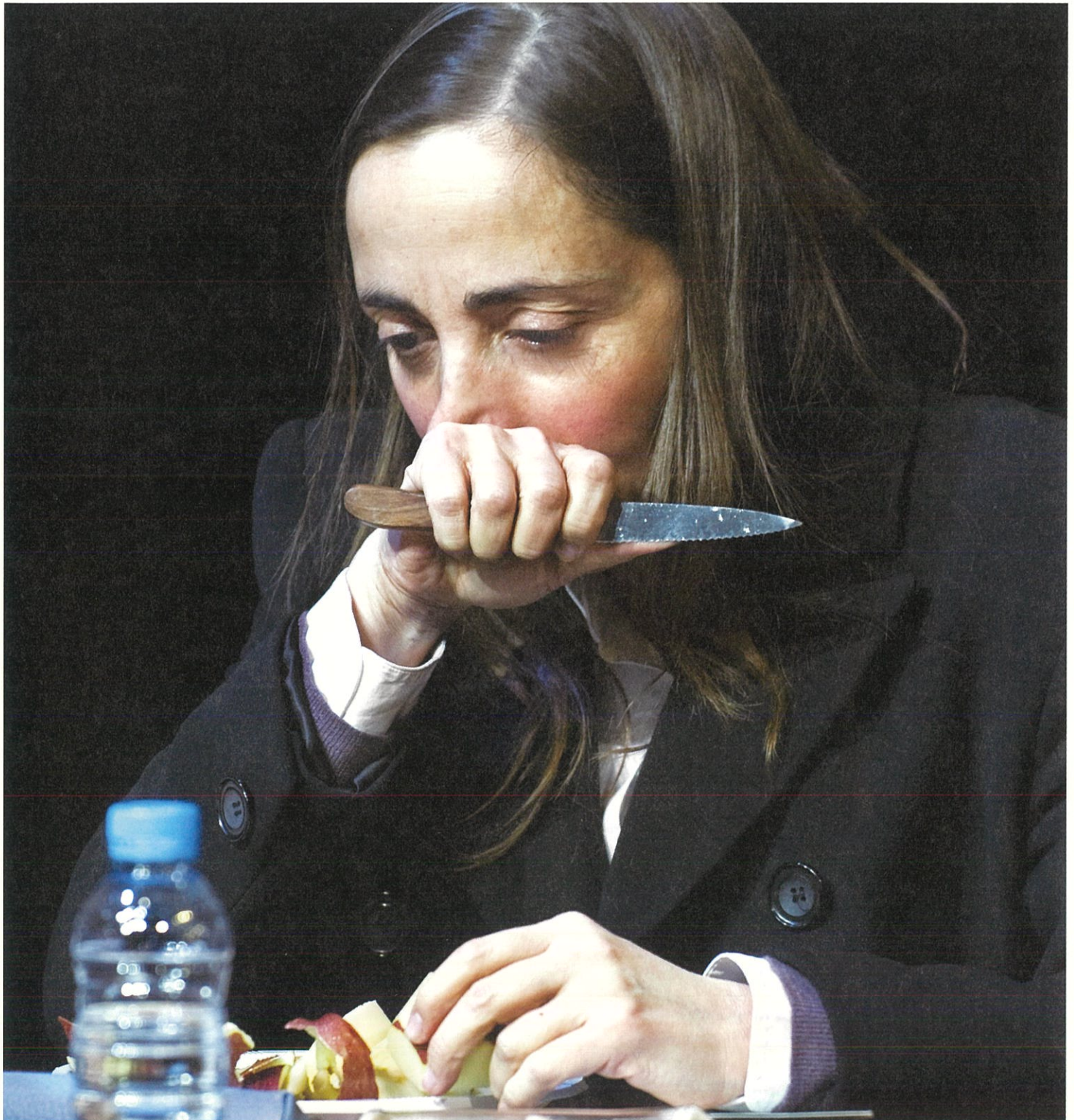
作: マルグリット・デュラス

演出: パトリス・シェロー、ティエリ・ティウ・ニアン

出演: ドミニク・ブラン

La Douleur

de Marguerite Duras
Mise en scène par Patrice Chéreau et Thierry Thiéu Niang
avec Dominique Blanc



苦惱

La Douleur

作：マルグリット・デュラス

演出：パトリス・シェロー、ティエリ・ティウ・ニアン

出演：ドミニク・ブラン



小説家、劇作家、映画作家等、多様な創作活動で知られるマルグリット・デュラスは、私生活の上では、特に第二次大戦中に、大きな苦悩を体験しています。すなわち、夫のロベール・アンテルムが、ユダヤ人であったために、強制収容所送りになり、危うく帰らざる人となるどころでした。『苦惱』は、デュラスの「戦争日記」とも言える苦悩と絶望と希望の錯綜するテキストであり、1945年春のフランス解放時にも、なお夫の生死が分からないという状況で書かれています。

二十世紀後半に、言葉の演劇とオペラの舞台上で、世界的評価を得た演出家パトリス・シェローと、近年彼のよき協力者として知られるティエリ・ティウ・ニアンの二人が、共に敬愛する女優ドミニク・ブランの一人芝居として、デュラスの作品の中でも最も激しく深いこのテキストを、舞台上に息づく作品に仕上げ、近年にない傑出した作品だと絶賛されています。

この三人が肉体化したデュラスのテキストの、沈黙、息、叫びは、従来のデュラス像を大きく変えることにもなるでしょう。

関連企画 2011年1月25日(火) 18時～

公開講座 【デュラス×シェローということ】

渡邊守章 (京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター所長)

京都造形芸術大学 映像ホール

無料/要事前申込み

申込み先：京都芸術劇場チケットセンター

Tel: 075-791-8240 (平日10:00-17:00)

『苦惱』日本ツアー情報

【東京公演】 2月21日(月)・22日(火) 19時開演

会場：シアターXカイン

東京日仏学院主催 シアターXカイン提携

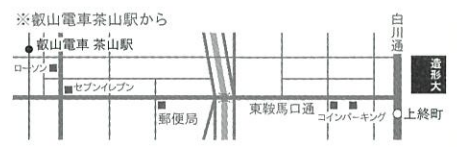
お問合せ：東京日仏学院 Tel: 03-5206-2500

【静岡公演】 3月4日(金) 19:30開演

会場：舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」

お問合せ：財団法人静岡県舞台芸術センター

Tel: 054-203-5730



● JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

● 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

● 京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。

【主催・お問合せ】

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

Tel: 075-791-9207

【出演】 Dominique Blanc ドミニク・ブラン

1959年生まれ。フロラン俳優学校でパトリス・シェローに注目され、シェロー演出のイブセン『ペール・ギュント』に出演して以降、シェロー作品には、映画、舞台ともに数々の作品に出演。舞台では、最新作の『苦惱』のほか、ジュネ作『屏風』、ラシーヌ作『フェードル』など。

その他、舞台では、リュック・ボンディ、ジャン＝ピエール・ヴァンサン、アントワーン・ヴィテース、デボラ・ワーナーなど名だたる演出家たちの作品に出演。1999年イブセン作『人形の家』、2010年『苦惱』で、フランスの演劇賞「モリエール賞」最優秀女優賞を受賞。

映画では、クロード・シャブロール、クロード・ソテ、ルイ・マル、レジス・ヴァルニエ、ベルトラン・ブリエ、ミシェル・ピコリ、アモス・ギタイ等の作品に出演。2001年『Stand By』でフランス映画賞「セザール賞」最優秀女優賞、2008年には『L'autre』でヴェネツィア国際映画祭女優賞を受賞。

【演出】 Thierry Thieû Niang ティエリ・ティウ・ニアン

その作品はダンス、音楽、ヴィジュアルアート、哲学から文学へと多岐にわたり、主題は「身体の領土」もしくは「領土の身体」をしばしば取り扱っており、今シーズンは『Au Bois Dormant (眠れる森)』を作家マリー・デプレシャンおよびミュージシャン・パンジャム・デュベと共に自閉症の青少年が作った作品を元に制作。パトリス・シェローによるピエール・ギヨタの『Coma』の朗読をバリのオデオン座で演出。多くの才能豊かなアーティスト達と作品を作り上げ、『苦惱』ではシェローとともに演出に参加している。

【演出】 Patrice Chéreau パトリス・シェロー

1944年生まれ。両親が画家であり、幼少期から芸術に親しむ。22歳の時、パリ郊外サルトル＝ヴィル市立劇場の監督に抜擢され、その後国立民衆劇場やナンテル・アマンディエ劇場の監督を勤め、そのオペラや舞台の演出は、常にヨーロッパ劇場の話題となった。中でも1976年、パイロイト祝祭劇場百年祭にて上演されたワグナーの『ニーベルングの指環』では高い評価を得てその地位を確立。1994年に監督した映画『王妃マルゴ』(イザベル・アジャニ、ダニエル・オートウイユ他)によって大成功を取った。2001年に『インティマシー/親密』でベルリン国際映画祭金熊賞、2003年には『ノン・フレール/兄との約束』で同銀熊賞を受賞。

制作によせて

先ずドミニク・ブランと共に仕事をしたい、何かを共有したい、そして、この「何か」が存在して欲しいという気持ちがありました。

この恐ろしいテキストと対峙したい、という欲望。レジスタンス、開放、強制収容所等々、もう一度思い出したいという欲望です。この時期は考えることが困難であり、人々は忘れ去っているからです。そして、この信じ難い男の帰還、マルグリット・デュラスが別れ、愛し、待つことの恐ろしさを味わい、少なからず彼女の作品となった男。狂った希望。これらを全て観客に伝えること、謙虚なやり方で。

パトリス・シェロー Patrice Chéreau

2011年2月19日(日) 16:00開演 15:30ホワイエ開場 ※上演時間 約80分
京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内)

【料金】 自由席/整理番号順入場

一般 = 3,500円 / シニア = 3,200円 / 学生 & ユース = 2,000円 / 京都芸術劇場友の会 = 3,000円

※ ユース = 25歳以下、シニア = 60歳以上対象 ※ 学生/ユース/シニアは要身分証明書の提示

※ 開演15分前から整理番号順にてご入場頂きます ※ 未就学児のご入場はご遠慮ください

【チケット発売日】 2010年12月6日(月) 友の会先行発売 / 2010年12月7日(火) 一般発売

【チケット取扱い】 学生 & ユース、友の会チケットは京都芸術劇場チケットセンター、劇場オンラインチケットストアのみの取扱い

京都芸術劇場チケットセンター (窓口販売・電話予約) Tel: 075-791-8240 (平日10:00-17:00)

劇場オンラインチケットストア

京都芸術劇場モバイルサイト ▶

パソコンから <http://www.k-pac.org/>

携帯電話から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m> ※要事前登録(無料)

電子チケットぴあ TEL: 0570-02-9999 (Pコード: 409-261)

イープラス <http://eplus.jp>

